

平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
上牧町	上牧町立上牧中学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

本校は地域に支えられ地域とともに発展してきた。中学校もまた「地域や社会に開かれた学校づくり」を学校の努力目標に掲げている。地域との結びつきをより深めることを願って昨年「学校コミュニティ協議会」を創設した。地域の方々との協働作業を通じて学校を活性化し、学校を地域に開くとともに地域の人々とのふれあいを通して心豊かな生徒の育成をめざそうと模索している。

2 特徴的な取組の概要

学校コミュニティ協議会は、学校支援ボランティア、自治会長、民生児童委員、学校評議員、PTAの方々の代表と教師で構成している。「生徒の笑顔のために何かできることをしたい。」との声をいただき、この意向を具体化するために「あいさつ運動・交通立哨」「清掃・ボランティア」「園芸・駅プレゼント」「図書・学習支援」の各部を立ち上げ活動を展開している。あいさつ運動では毎朝の校門立哨に協議員の方に参加してもらって登校の様子を見守っていただいた。学習支援では「放課後学習会」を定期的に関き学習のサポートを行っていただいた。図書支援においては本の貸し出しと返却業務、図書の整理を担ってもらった。園芸では草花を育て公共施設等に贈呈する活動をしている。生徒会主催のボランティア活動にも協議員に参加していただいた。地域の方々に来てくださり学校のために汗を流してくださることによって、生徒たちも地域の方々に支えられていることを感じ、学校生活を頑張ろうとする意欲や行動面での積極性が見られた。また、協議員と教職員の話し合いや連携が深まり、生徒のためになる新たな活動も発見でき教職員自身も成長できた。

活動の結果、生徒たちは地域とのつながりを意識したり、社会性を徐々に身に付けたりしてきている。しかし、まだまだ身に付けたことが定着しているとは言えず、生徒が地域の人々との交流を通じて経験したことをいかに継続させるか、生徒自らが地域に飛び込んでいく意欲や実行力に発展させる取組にどうつなげるかが課題として残った。また、企画した活動を広げ、学校に根付かせることが来年度の課題である。



挨拶運動



空き缶拾いボランティア



花プレゼント栽培